

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111(内4064)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 330,000 千円 (前年度予算額： 170,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	170,000	170,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	330,000	330,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・食品産業の輸出力強化を図るためには、HACCP等の国際規格・認証の取得が極めて重要である。
- ・このため、国庫補助事業を活用し、県内の食品製造事業者等を対象に、HACCP等に対応した施設整備を支援する。

(2) 事業内容

- ・加工食品等の輸出拡大に必要な製造・加工、流通等の施設の新設及び改修、機器の整備
[補助対象者] 食品製造事業者、食品流通事業者、中間加工事業者等

(3) 県負担・補助率の考え方
国庫補助 (1/2以内)

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	330,000	事業実施予定：3事業者
合計	330,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略 (H5.3策定)
3 (1) ⑤ 「ぎふブランド」づくり (情報発信・販路拡大)
- ・新たな「ぎふ農業・農村基本計画」 (R3.3策定)
(3) ぎふ農林水産物のブランド展開 ①輸出拡大の強化

(2) 国・他県の状況

令和2年度から実施した農林水産省の補助事業である。
他県採択状況一覧の公表はない。

(3) 後年度の財政負担

ぎふ農業・農村基本計画の目標年 (令和7年度) まで

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

輸出先のニーズに対応したHACCP等の基準を満たすため、食品製造事業者等の施設の改修及び新設、機器の整備に対する支援により、県全体の輸出力の更なる強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①飛騨牛の年間輸出量 (t)	0.3 (H20)	80	80	90	100	80%
②鮎の年間輸出量 (kg)	15 (H25)	3,540	5,000	7,000	10,000	35%
③富有柿の年間輸出量 (t)	11 (H20)	38.7	80	90	100	39%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・3地区（飛騨ミート農業協同組合連合会、(株)鈴木栄光堂、森白製菓(株)）で事業採択され、HACCP等の基準を満たす施設改修、機器の整備を行い、輸出量を増加させる体制を整えることができた。</p> <p>指標① 目標：30,000kg 実績：<u>45,127kg</u> 達成率：<u>150</u> %</p>
令和3年度	<p>・2地区（(株)鵜舞屋、桜井食品(株)）で事業採択され、HACCP等の基準を満たす施設改修、機器の整備を行い、輸出量を増加させる体制を整えることができた。</p> <p>指標① 目標：<u>60,000kg</u> 実績：<u>89,519kg</u> 達成率：<u>149</u> %</p>
令和4年度	<p>・1地区（(有)船坂酒造店）で事業採択され、ISO22000、コーシャ認証の基準を満たす機器の整備を行い、輸出量を増加させる体制を整えることができた。</p> <p>指標① 目標：70,000kg 実績：<u>79,954kg</u> 達成率：<u>114</u> %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	今後、急速な人口減少社会を迎え、国内市場の縮小が見込まれる中、農林水産業の所得を確保するために、相手国の基準や海外ニーズに対応した施設及び体制の整備は、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	飛騨牛、鮎、富有柿含め、農産物の輸出量は全体的に伸びてきており、県の輸出戦略に沿った事業実施の効果が現れている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	事業計画を策定し、採択基準に基づく採点のうえで採択事業者を決定するとともに、事業成果の評価等を行うため、実施の効率性は図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 農産物の輸出では、各国が輸入規制や条件を設定しているため、食品製造事業者等のHACCP等に対応した施設整備の推進が課題となっている。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 相手国の基準や海外ニーズに対応した施設及び体制の整備により、県全体の輸出力の更なる強化を目指す。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】